



日本国内における電動化・ZEVトレンドを月次でまとめた資料です。

本レポートについて

背景•目的

- 2015年、TeslaのModel Xがアメリカで発売された以降、グローバルでは早いスピードで車両の電動化が進んでいる
- 一方、日本市場では国内・海外メーカーの商品投入から政府の関連法規制度が次々と発表されており、 グローバルと比べては遅れているが、確実に産業・市場は電動化の方向を向いている
- 本レポートは、この様な国内の電動化トレンド毎月単位でまとめ、各関連企業様から産業・市場変化により対応すべき戦略・運営についてのインサイト・情報を提供のを目的とする

コンテンツ

- 国内ZEV市場動向:毎月の販売台数、主なトレンドのまとめ
 - 政策・インフラ
 - 新車
 - 業界

単語解説

■ **ZEV**: Zero Emission Vehicleの略字で、ガスが排出されない車両を意味する。主には電気自動車 (EV)と水素燃料自動車 (FCV)を含む。

レポート 作成

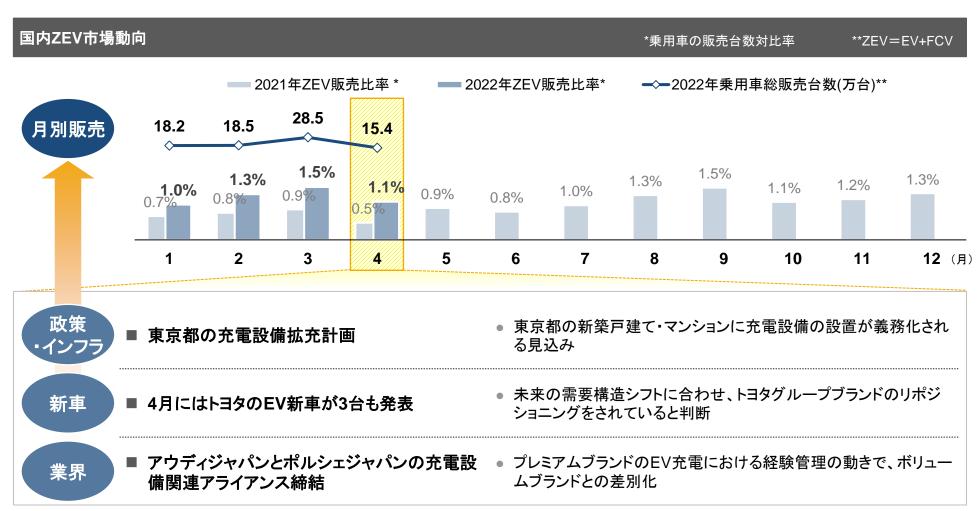
■ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング、戦略コンサルティング部



2022年4月のまとめ

2022年4月_ZEV Market Report

2022年4月のZEV販売台数比率は1.1%を記録、昨年同期と比べ2倍以上に成長しています。



(出所) MURC Analysis, 販売データーは日本自動車販売協会連合会(JADA)を引用LMURCで作成



東京都の新築戸建て・マンションに充電設備の設置が義務化される見込みです。

東京都の充電設備拡充計画

東京都における ZEVの新車販売比率 **2030年までに50%目標** (2020年度:2.3%)

2019年度から個人向けにZEV購入補助金制度開始

2022年度内に関連する条例改正案の議会提出計画

ZEV購入補助金

マーケット成長の PULL策 マーケット成長の PUSH策 新築戸建て・マンションに 充電設備の設置義務化

BEV購入における市場のペインポイント

外部に充 電設備が 少ない

し。。

次の車を電動車にしない理由

充電場所が少ない: 26.7%

価格が高いから(39.9%) ガソリン車や旧車の方が好きだから(11.1%) その他(22.3%)

出所)ナイル

その他(1%)

。。居住 地にも充 電設備が 無い BEVを最も頻繁に充電する場所

自宅:71%

道路/公共充電ステーション(26%) 職場(2%)

出所) デロイトトーマツ コンサルティング

東京都から検討中の方向性



小池都知事

"自動車を取り巻く世界の流れは激動を続けており、 ZEVの普及を支える充電設備の設置は不可欠"

- 4/22 定例記者会見

- 東京都は、2030年の新 車販売に占めるZEの割 合を50%を目標
- ・充電設備の設置義務対象は駐車場付きの新築 戸建て住宅・マンション
- ・施工者側に一定の条件 を付けた上で設置を義務 付けることを想定(コスト は建築主側負担の可能 性)

予想インパクト

BEV販売増加

• 特にマンション居住者の電気自動車購入検 計増加が予想

マンション内の共有電気自動車サービス

- ・共有自転車の様なサービス
- ・カーシェア会社の参入も予想

戸建の充電設備のシェアリング事業

SNSや特定プラットフォームを活用した充電所のシェアリング化→収益

(出所) MURC Analysis、読売新聞オンライン



4月にはトヨタのEV新車が3台も発表されました。

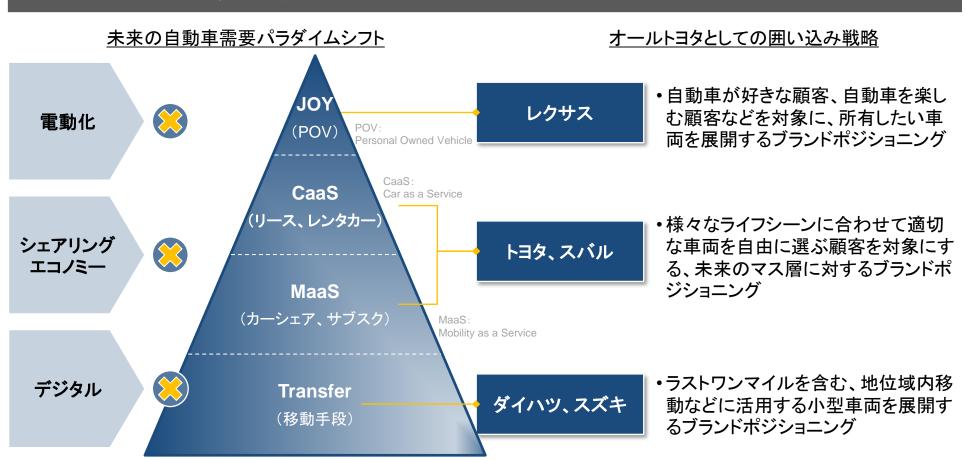
2022年4月に発表されたトヨタのBEVラインアップ

イメージ			
メーカー、車名	トヨタ、bz4X	スバル、ソルテラ	レクサス、RZ 450e
ベース価格	600.0万円	597.3万円(ET-SS)	900万円以上(予測値)
走行距離(WLTC)	559km	567km	450km(暫定値)
全長×全幅×全高	4690 x 1860 x 1650 mm	4690 × 1860 × 1650 mm	4805 x 1895 x 1635 mm
販売関連	KINTO経由でリース限定販売 (リース中心のCaaS展開)	一般販売開始 (POV中心展開)	2022年後半に発売予定
備考	2022年度は1期に3,000台の申 し込みを開始して、5,000台分 の生産・販売を予定	トヨタのbz4Xと販売手法におい て差別化(キャッシュ、ローン) → 年間目標1,500台	所有、共有を超えた楽しむ、を 中心に車両スペックを設定
	トヨタとスバル共同で開発されたe-TNGAプラットフォーム採用		

MUFG

未来の需要構造シフトに合わせ、トヨタグループブランドのリポジショニングをされていると判断されます。

トヨタのブランドポジショニング戦略方向性



(出所) MURC Analysis



プレミアムブランドのEV充電における経験管理の動きで、ボリュームブランドとの差別化を狙います。

アウディジャパンとポルシェジャパンの充電設備関連アライアンス締結

電動車におけるカスタマージャーニー

ジャーニー **ICE** 7FV 4大メディアや オンライン媒体で 検討 WOM中心 の情報収集 ディーラーと相談し 付合いがある 相談 ディーラー ない事が多い ▲・カーシェアなどで長 ディーラーで短 乗斌 時間試乗 時間体験 ・キャッシュ、ローン キャッシュ、 契約 ローンなど など カーメーカから ・ 充電に対する経験 給油 充電 の管理外 管理 - CPO 中古車 CPO

ポルシェジャパンとアウディジャパンの締結内容

ポルシェとアウディが"プレミアムチャージングアライアンス"を締結

概要

- ・ポルシェジャパンとアウディジャパンは国内に最大150kW出力の急速充電インフラを拡充するアライアンスを締結
- 両ブランドのEVユーザーだけが利用できる独自の高出力充電 ネットワークを構築
- 充電器の数: 2022年度まで93拠点102基
 - テスラのスーパーチャージャー: 全国37ヵ所(2021年10月 基準)

カスタマー エクスペリ エンス

アウディケース

AS WAS

アウディディーラー ○

ポルシェディーラー ★

オープン充電設備 ○

・同じVWグループのポルシェ

の充電設備の使用不可

TO BE

アウディディーラー ①

ポルシェディーラー ①

オープン充電設備 ①

・ポルシェの設備も使用可能

(出所) MURC Analysis、アウディジャパン、EVsmart

ご利用に際して

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、作成者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断ください ますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい

本資料に関する問い合わせ先:

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

コンサルティング事業本部 コンサルティング業務企画部 下記HPよりお問い合わせください

https://www.murc.jp/inquiry/



お問い合わせ

- コンサルティングのご依頼、ご相談の際は、以下のボタンをクリックください
- お問い合わせページに移動しますので、必要事項を記入ください

お問い合わせ

QRコードはこちら



URLはこちら https://

https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekf-ldkgpe-1648b29f41f462760deaee4cdc248144



シンクタンク・コンサルティングファームとしての知見発信

当社所属のコンサルタントによる最近の出版物(抜粋)





当社コンサルタントが出演したテレビ番組(2021年冬)

BSテレビ東京 特別番組 「日本はこうなる!?~2022年を生き抜くビジネス戦略~」



出所及び動画URL: https://www.bs-tvtokyo.co.jp/nihonkounaru/

関連レポート

自動車産業を取り巻くカーボンニュートラル対応の動向 2022/01/18 石倉 拓史

コンサルティング・レポートはこちら

URL https://www.murc.jp/report/rc/report/consulting_report/



さまざまな業種・業態の企業のお客様のために、 経営課題の解決や経営戦略の立案に 役立つレポートを掲載しています



三菱UFJリサーチ&コンサルティング 戦略コンサルティング部

